

## 当院で行っている臨床研究として公開する情報

研究名:人工知能によるヒト胚の time-lapse 観察データを含む多変量因子を用いての不妊症治療の予後予測モデルの確立

目的:患者夫婦の身体的特性や検査結果、および体外受精・顕微授精によって得られた胚のタイムラプス観察の情報を用いて、着床、妊娠、および流産が起こる可能性について、人工知能を用いて予測できるかを研究します。

研究の方法:2015年11月から5年間に当院で体外受精、顕微授精を行い、受精卵をタイムラプス観察で評価を受けた方を対象とします。診療録および胚の観察記録より得られた情報は匿名化されたのち、共同研究施設において人工知能により分析されます。データの保管期間は論文化から少なくとも10年間とします。

参加者のリスクと利益:研究対象の方に新たな身体的なリスクはありません。この研究への参加によって、あなたが直接的な利益を得ることはありませんが、将来、同じ状態の患者の方々の治療に役立つ可能性があります。

費用と補償:この研究への参加により、新たな費用負担が生じることはありません。また、参加者へ報酬や報償金が支払われることはありません。

結果報告:解析結果は、直接あなたの治療に役立つ情報ではないため、あなたに対して連絡されることはありません。この研究で得られた結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。個人のプライバシーおよび個人に関する情報は厳重に保護・尊重され、外部に公表されることは一切ありません。研究計画書および研究の方法に関する資料を入手・閲覧することができます。資料の入手・閲覧に関しては、他の研究対象者等の子妊情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。その他本研究に関して、研究対象とならないことを希望する場合や、研究に関してご不明の点がございましたら、いつでも当院倫理委員会にお問い合わせください。対象とならないことを希望された場合も、一切不利益は生じません。